

議会の活動

平成27年
(2015年)6月
第145号

広報なごや 市会だより

市会だよりについて

市会だよりとは、市会の諸活動を広く周知することにより、議会への理解と関心を高めることを目的に発行しています。より分かりやすい紙面づくりを目指すため、平成22年6月号の市会だよりから、議員で構成する編集委員会を設置しました。

また、議会の活動に関する情報を積極的に公開・発信するため、平成23年度から市会だよりの毎月発行化に向け、予算要求をして参りました。しかし残念ながら、河村市長から『回数をふやすことは、必要性、費用対効果の面で疑問がある』として、毎月発行化は認められませんでしたので、平成27年度も現時点では年7回の発行を予定しています。

2月定例会特集号

市会の2月定例会は、2月16日から3月10日までの23日間にわたって開かれ、平成27年度名古屋市一般会計予算等の市長提出案件88件、議員提出議案6件についての審議等が行われました。

なお、5月14日から18日に開かれた5月臨時会で決定した新しい市会の構成等につきましては、次号(平成27年7月発行予定)の市会だよりに掲載いたします。

「平成27年度名古屋市一般会計予算」(総額1兆723億円)等を可決しました。

■「平成27年度名古屋市一般会計予算」については、賛成多数により強い要望・意見(附帯決議)を付して、原案どおり可決しました。

▼ 強い要望・意見(附帯決議)の内容 ▼

- 特別職秘書については、職責に対する意識と認識が欠如したような現状に鑑み、平成26年2月定例会で、特別職の秘書の職の指定等に関する条例を議決した際に、当局が示し、議会が認めた、国・他自治体・議会・関係機関等との連絡調整などの職責を十分に果たし、かつ、地方公務員として法令を遵守し、公平・公正に職務を全うできる人材を市長の責任において確保し、任命すること。
- 鉄道を活用した都市魅力向上策の推進に係る予算については、現段階において、あおなみ線で走行させる蒸気機関車の車両の確保に向けた鉄道事業者との協議が調っていないことに鑑み、走行車両の確保に向けた協議が調い、市民に対する説明責任を十分果たし得ると判断できる状態に至るまで凍結し、議会に報告した上で執行すること。

■「平成27年度名古屋市介護保険特別会計予算」など4件については、いずれも賛成多数により原案どおり可決しました。

■「平成27年度名古屋市国民健康保険特別会計予算」など13件については、いずれも全会一致により原案どおり可決しました。

■平成27年度当初予算

会計名と内容	予算額	対前年度比
一般会計(市税を主な財源とし、福祉、教育、道路・公園の整備など市政の基本的な事業を行っている会計)	1兆 723億円	+1.4%(149億円増加)
特別会計(特定の収入(保険料など)によって特定の事業(保険事業など)を行っている会計で、一般会計と区別して経理する必要がある会計)	1兆1,522億円	▲1.4%(162億円減少)
公営企業会計(病院、上下水道、市バス、地下鉄事業など、主にサービスを受ける方からいただいた料金で運営している会計)	4,381億円	▲3.5%(159億円減少)
合計	2兆6,626億円	▲0.6%(172億円減少)



「職員の給与に関する条例の一部改正について」等を可決しました。

■「職員の給与に関する条例の一部改正について」は、賛成多数により強い要望・意見(附帯決議)を付して、原案どおり可決しました。

▼ 強い要望・意見(附帯決議)の内容 ▼

- 職員の給与については、本市の適正かつ持続可能な人事行政に支障を来すことのないよう、市長みずから選んだ人事委員会による勧告の内容を完全実施すべく、速やかに議論をし、その議論・結果をもとに、人事委員会勧告に沿った適正な給与体系を実現すること。

■「名古屋市職員定数条例の一部改正について」など6件については、いずれも賛成多数により原案どおり可決しました。

■「名古屋市職員傷病審議会条例の制定について」など41件については、いずれも全会一致により原案どおり可決(諮問案件については異議なき旨の答申議決)しました。

☞ その他の議案については、2・3・4面をご覧ください。

